

日本プロセス化学会第 29 回理事会議事録

日時 2015 年 7 月 13 日(月) 12 時 00 分～14 時 30 分

場所 国立京都国際会館(103 会議室) 参加者 27 名

最初に役員交代・新任(設楽永紀, 谷本憲彦, 川崎昭彦, 増井義之、間瀬俊明の各氏)の件を了承
議題

1 確認・報告事項

(1) 第 28 回理事会(2014 年 12 月 4 日)議事録が承認された

(2) 2014 ウィンターシンポジウム(2014 年 12 月 4 日(金)富山)が報告された①

(3) 2015 サマーシンポジウム 3rdISPC2015 準備状況が報告された

基本的にメールのみで事前準備を行った。

味の素からドリンク協賛を頂いた。

情報交換会でのスピーチは、海外招待講演者からの 2 件を含め、全て冒頭に頂く。

「化学と工業」のギャラリー、「化学工業日報」の紙面一面で紹介して頂いた。本シンポジウム終了後に学会HPにて記事を掲載予定。

(4) 2015 ウィンターシンポジウム(11 月 27 日(金)徳島)準備状況が報告された

(5) Pacificchemシンポジウム(12 月 18, 19 日(金土)Hawaii)準備状況が報告された

口頭 36 演題、ポスター 33 演題

19 日午前には、ノーベル化学賞受賞者の根岸英一先生による講演も予定されている。

(6) 2016 サマーシンポジウム(7 月 28, 29 日(木金)名古屋)準備状況が報告された

・収容 1000 名超の名古屋国際会議場

・サイダ(株)、日本軽金属(株)、山本尚、福山透、伊丹健一郎各先生を含め 10-12 件の招待講演を予定。

・ランチョンセミナーに関しては今回は見送る。

(7) 日本薬学会第 135 年会シンポジウム「新薬を創り、造る合成技術の新展開」が報告された

神戸薬科大学の宮田興子先生にご協力頂いた。

(8) 第 9 回プロセス化学ラウンジ(12 月 12, 13 日(金土)湯河原)が報告された

・参加者 43 名。金曜 1 日のみで講演頂いたため、意見交換がしやすいと好評であった。

・前泊に関して開始時間を遅らせる等、プログラム編成に工夫が必要。

夕食後にベテランの研究者の講演も一案。但し、21 時に夕食会場が close なので、一考を要する。

(9) 第 10 回プロセス化学ラウンジ(2015 年 12 月 4, 5 日(本~~金~~ 金土)湯河原)準備状況が報告された

・アカデミアから 2 件、企業から 4 件の講演を予定。

(10) 東四国地区フォーラム活動が報告された

年 3 回のフォーラムを毎年開催している。

・第 16 回フォーラム(2014 年度第 3 回、2015 年 1 月 10 日): 外輪健一郎先生(徳島大院)、高橋和彦先生(大日本住友)にご講演いただいた。参加者 73 名(うち学生 58 名)。

・第 17 回フォーラム(2015 年度第 1 回、2015 年 6 月 27 日): 石川文博先生(伏見製薬所)、笹岡三千雄先生(ラベニール 3000)にご講演いただいた。参加者 90 名(うち学生 66 名)。

・第 18 回フォーラム(2015 年度第 2 回、2015 年 10 月 3 日): 難波康祐先生(徳島大院)、松儀真人先生(名城大)にご講演いただく予定。

・第 19 回フォーラム(2015 年度第 3 回、2016 年 1 月 19 日): 加藤昌宏先生(中外製薬)、他 1 名の先

生にご講演いただく予定。

(11) シンポジウム委員会から報告があった

- ・日本薬学会第 136 年会（横浜）でのシンポジウムは計画していない。
- ・日本化学会第 96 年会（京田辺、同志社大学）でのシンポジウムを予定している。

(12) 出版編集委員会から報告があった

- ・「プロセス化学のための化学工学」を、化学工業日報から出版する。1 冊 3,000 円。第 1 回目の著者校正段階。査読を経て再校後出版の予定。
- ・「有合化との合同出版計画」：企業・大学における成功体験と、企業が大学に求める課題を主題とする。企業の若手研究者、大学院生を対象。只野金一理事を編集委員長としてプロセス化学会側がリードして本事業を進める。

(13) その他 ②出前講義、③会員が報告された

2 協議事項

(1) 会則第 8 条 1. の変更：理事 30 名以内（うち、会長 1 名、副会長若干名、会計 1 名、名誉会長若干名）、監事 2 名が承認された

(2) 2014 年度(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日) 決算案④が承認された

(3) 2015 年度予算案⑤が承認された

- ・ISPC2015 のために例年より支出が多い。また、Pacifichem2015 におけるシンポジウムで情報交換会を予定しており、そのための予算を計上している。

(4) 2015 年度通常総会次第案⑥が承認された

(5) 2015 サマーシンポジウム 3rdISPC2015 優秀賞選考委員が承認された

- ・アカデミア 3 名、企業 4 名、計 7 名の先生方に選考委員を依頼した。特に企業 4 名の選考委員に関しては、年齢や専門が偏らないように考慮した。
- ・例年 8 名の選考委員により優秀賞を選考しているが、8 名で全ての審査をするのは大変だという声が委員経験者から挙げられており、委員を増員してはどうか、との意見が出た。これに対し、選考委員の人数を増やすと票が分散してしまい、選考が却って難しくなるのでは、との意見も出された。協議の結果、本シンポジウム並びに今後のシンポジウムにおいても、特に選考委員の増員はしない方針が確認された。

(6) 2015 ウィンターシンポジウムが承認された

(7) 日本薬学会第 136 年会シンポジウムの不開催が承認された

薬学会の要請があった場合には検討する。

(8) 2016 サマーシンポジウム開催が承認された

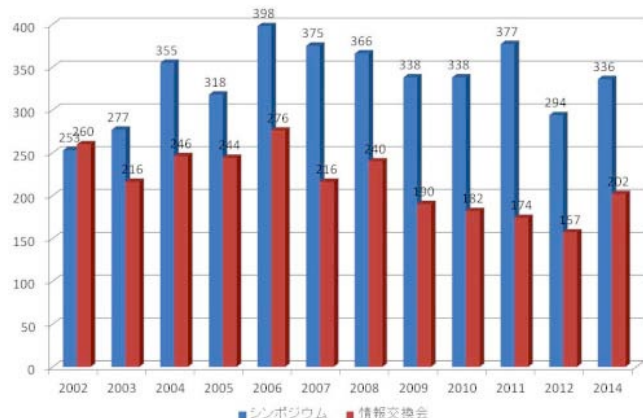
(9) 地区フォーラム活動が承認された

東四国地区のフォーラム活動は活発だが、その他の地域ではなかなか具体的な活動が開始できていない。少人数での懇話会形式ならば始めやすいか。原薬メーカー、医薬品業界以外の GMP 品質に準拠する製造に関わっている企業、等と連携するのも一案。→ 今後も左右田副会長を中心として新たな拠点づくりを模索していく。

(10) その他

文責： 富岡 清 （山本康友）

① Winter2014 参加者等



2014富山国際会議場

【収入】

シンポ145 情報交換202	874,000
広告収入	116,640
合計	990,640

【支出】

富山国際会議場会場	303,970
会場備品	120,310
その他(弁当・駐車場・等)	78,780
※上記出前講義含む	
シンポジウム会場看板設置	48,600
会場関係合計	551,660

情報交換会費	1,171,139
---------------	------------------

化学日報管理・運営費	1,706,704
講師謝礼金等(2名)	85,755
アルバイト費(16名)	172,200
その他支出合計	1,964,659

学会補助	2,696,818
-------------	------------------

② 出前講義：医薬品のプロセス化学（第二版）

2015	1件	170冊 (本日現在)	2009	4件	213冊
2014	6件	280冊	2008	7件	562冊
2013	6件	315冊	2007	3件	90冊
2012	7件	375冊	2006	14件	620冊
2011	4件	180冊	2005	3件	300冊
2010	6件	250冊			

③ 会員入会状況 賛助会員112社 (116社) 正会員356名 (396名) 学生会員44名

④ 割愛

⑤ 割愛

⑥ 割愛

日本プロセス化学会 2015 年度 通常総会議事録

日時：2015 年 7 月 14 日（火）13：00～13：25

場所：国立京都国際会館大会議場

1. 議事

第 1 号議案 会則第 8 条 1 変更の件が承認された

第 2 号議案 役員交代・新任・退任承認の件が承認された

第 3 号議案 日本プロセス化学会 2014 年度 決算案が承認された
監事監査結果 報告が承認された

第 4 号議案 日本プロセス化学会 2015 年度 予算案が承認された

第 5 号議案 事業計画の件が承認された

- (1) 2015 サマーシンポジウム（第 3 回プロセス化学国際シンポジウム）（国立京都国際会館）
2015 年 7 月 13 日（月）～15 日（水）
- (2) 2015 ウィンターシンポジウム（徳島大学長井記念館）
2015 年 11 月 27 日（金）
- (3) 第 10 回プロセス化学ラウンジ 湯河原
2015 年 12 月 4, 5 日（金土）
- (4) Pacificchem シンポジウム Hawaii
2015 年 12 月 18, 19 日（金土）
- (5) 単行本の編集・出版状況

第 6 号議案 地区フォーラム活動が承認された

報告事項

a) 2014 年度事業が報告された

- (1) 2014 サマーシンポジウム（タワーホール船堀）
2014 年 7 月 31 日、8 月 1 日（木金）
- (2) 2014 ウィンターシンポジウム（富山国際会議場）2014 年 12 月 5 日（金）
- (3) 第 9 回プロセス化学ラウンジ（湯河原）2014 年 12 月 12, 13 日（金土）
- (4) 日本薬学会第 135 年会シンポジウム「新薬を創り、造る合成技術の新展開」（神戸）
2014 年 3 月 27 日（金）
- (5) 単行本編集が報告された
- (6) その他 出前講義が報告された

b) 会員入会状況が報告された

c) シンポジウム参加者数が報告された